



江田島の海上自衛隊



第 1 術 科 学 校

幹部候補生学校

明治期の海軍兵学校

明治45(1912)年 撮影

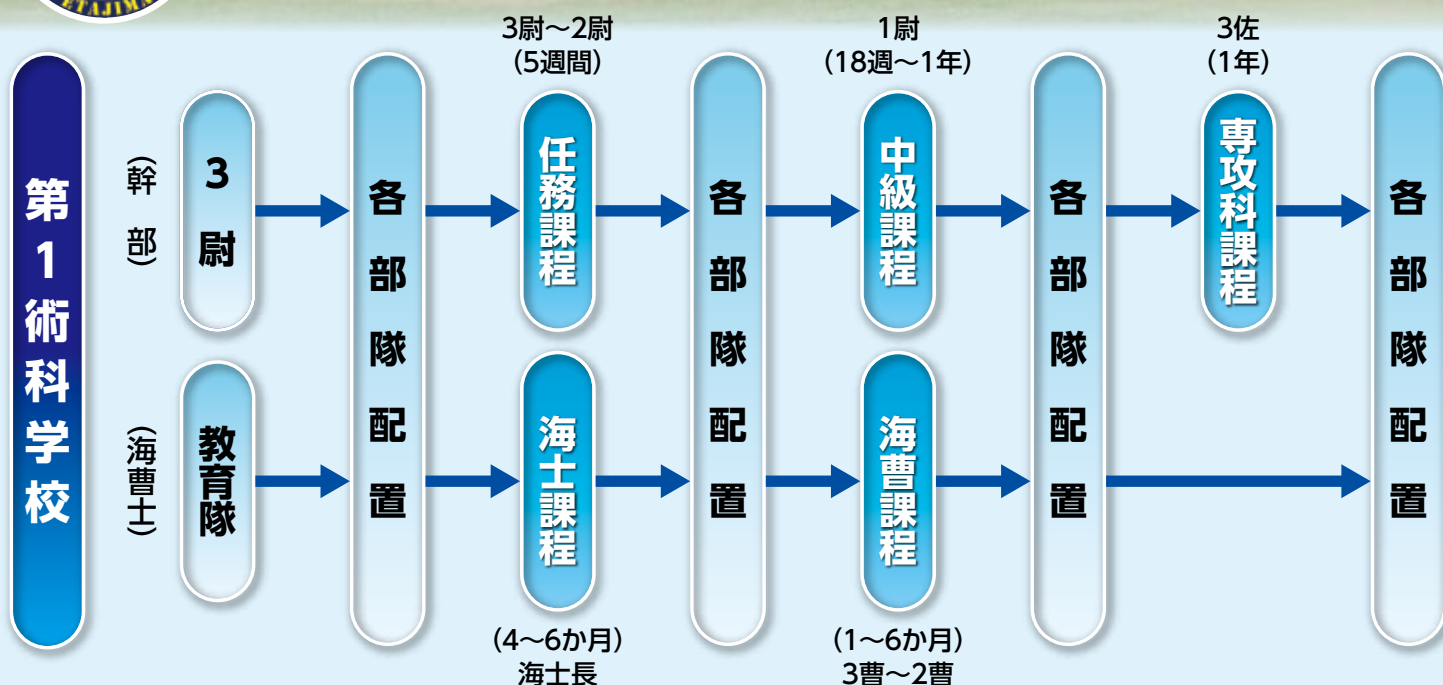


海軍兵学校生徒館(現 幹部候補生学校本館)

第1術科学校

第1術科学校は、砲術、水雷、船務、通信、航海、気象・海洋、掃海・機雷、運用、応急及び潜水等の配置で勤務する隊員に対して専門教育を行っています。

年間、幹部学生約600名、海曹士学生約2,000名が江田島を巣立っていきます。



江田島は、風光明媚な広島湾にあり、東は呉市に、北は広島市に、西は名勝安芸の宮島に面し、早瀬大橋、音戸大橋又は第2音戸大橋を経て呉市に通じています。

海軍兵学校は、明治21（1888）年に東京築地からこの江田島に移転しました。それ以来江田島は、アメリカのアナポリス、イギリスのダートマスとともに世界3大兵学校の所在地としてその名が広く世界に知られることとなりました。海軍兵学校は、終戦により昭和20年12月1日、57年の幕を閉じました。

戦後、約10年間に渡り連合軍が各施設を使用しました。昭和31年1月連合軍が撤収し、術科学校が横須賀から当地に移転、同年5月に幹部候補生学校が独立開校、昭和33年4月に術科学校は第1術科学校に名称を変更し、現在に至っています。

幹部候補生学校

幹部候補生学校は、海上自衛隊の初級幹部自衛官として勤務するのに必要な知識と技能を修得させるための教育を行っています。

年間約500名の一般幹部候補生、幹部予定者、飛行幹部候補生等が教育を受け、3等海尉（一部2等海尉）に任官して巣立っていきます。



幹部候補生学校

防大 / 一般大 一般幹部候補生課程(1年)

初級幹部海上実習
(遠洋練習航海)

防医大 / 一般医大 医科歯科幹部候補生課程(6週間)

初任実習研修

航空学生 飛行幹部候補生課程(6か月)

海上実習

部 内 一般幹部候補生課程(9か月)

海上実習

准尉 / 曹長 幹部予定者課程(4か月)

公募幹部 公募幹部課程(2か月)

各
部
隊
配
置

大講堂



大正6(1917)年に建設され、海軍兵学校時代から学生の入校式、卒業式等といった学校として最も大きな節目となる行事に使用されています。

大講堂の石は山口県産の御影石(花崗岩)が使用されています。2階には貴賓室があり、天井には舵輪をかたどった照明が設けられています。収容人数は、約2,000名です。

教育参考館

教育参考館は、先人の遺徳をしのぶ場所として、昭和11(1936)年に海軍関係者や財界等からの寄付金により建てられました。

戦後、海上自衛隊員の情操教育の場として復活し、海軍等の歴史に関する貴重な資料を約1,000点展示しています。



表棧橋



江田島湾に突き出たこの棧橋は「表棧橋」と呼び、かつて兵学校卒業生は、ここから軍楽隊の演奏の中、盛大な見送りを受けて、沖合に待機している練習艦隊に乗組みました。

現在も、幹部候補生学校卒業生が、兵学校卒業生同様に見送りを受け、練習艦隊に乗組みます。

戦艦「陸奥」砲塔

この主砲は、帝国海軍の戦艦「陸奥」4番主砲として搭載されていた40センチ砲塔で、昭和10(1935)年に陸奥が改修された際、取り外され教材用としてこの地に移設されました。

弾の重量は、約1トン、最大射程は約30kmです。



特殊潜航艇・海竜

この特殊潜航艇(写真前方)は、当時秘匿のため甲標的とも呼ばれました。この艇は、昭和16(1941)年、12月8日の真珠湾攻撃に参加した5隻の内の1艇で、昭和36年に日本に返還されたものです。

乗員は2名で、45cm魚雷を2本搭載し、敵湾内に潜入、停泊艦艇攻撃用に使用されました。

海竜(写真後方)は、本土決戦用に備え量産された特攻兵器で、終戦までに約230隻が造られました。一度も実戦使用されませんでした。

航空機(銀河)の操縦系統と自動車用機関を搭載した前例のない有翼潜水艇でした。

海上自衛隊歴史ゾーン

海上自衛隊創設60周年を記念し、海上自衛隊の歴史を伝えるために平成25年3月15日江田島クラブ2階に開設しました。平成3(1991)年にペルシャ湾にて掃海部隊が爆破処分した機雷の一部や護衛艦の模型等、約100点の多彩な資料を展示しています。





国旗掲揚

写真



課業整列



分隊点検



課業行進



水泳競技



遠泳

真館



訓練



卒業式



食事



登山競技



訓練



自衛隊記念日 記念行事

見学のご案内

◆定時見学（49名以下の場合）連絡不要

	第1回	第2回	第3回	第4回
月曜日～金曜日		11:15	13:30	15:15
土日・祝日	9:30	11:15	13:30	15:15

※1 受付時間は、上記開始時刻の30分～5分前まで。正門にて受付しています。

※2 見学時間は、約1時間30分です。

◆団体見学（50名以上の場合）要連絡

下記、お問い合わせ先にご相談ください。

見学時の注意事項

- ① 構内は一般観光地ではなく、海上自衛隊の学校です。このため、係員の指示に従ってください。指定場所以外での喫煙はできません。また、飲酒をされての入門をお断りいたします。
- ② 教育参考館内の写真撮影は、できません。
- ③ 入場は無料です。駐車場（無料）、売店（土産物）もご利用できます。
- ④ 見学可能日は、公式WEB又は下記にお問い合わせください。

お問合せ先

海上自衛隊第1術科学校 総務課広報係

受付時間 平日08:30～12:00/13:00～16:30

〒737-2195 広島県江田島市江田島町国有無番地

☎(0823)42-1211（内線2016）

第1術科学校公式WEB

<https://www.mod.go.jp/msdf/onemss/>



- 車で呉市から第2首戸大橋・早瀬大橋経由
1術校まで約50分
- 宇品港(広島港)～小用港【高速艇】 約20分
- 宇品港(広島港)～切串港【フェリー】約30分
- 呉港～小用港【フェリー】 約20分
- 呉港～小用港【高速艇】 約10分

構内施設

古鷹山 394m



訓練水槽

水交館

教育参考館

第1食堂

大講堂

正門
(受付)

幹部候補生学校本館

第1術科学校庁舎

第1術科学校学生館

表棧橋

江田島クラブ
(見学者控室、
歴史ゾーン、売店)